

## 「鵜飼と連夜花火を愉しむ

## 夏祭りの宵」を開催

ACTIVE KUMIAI

石和温泉では、夏休みに石和温泉を訪れる観光客に夕涼みをしながら、愉しんでいただけるよう次のイベントを実施した。

「稚鯉すくい」は、全長18mの水槽で錦鯉の稚鯉をポイですくくものである。稚鯉は大切に育てれば、一攫千金?になるので、楽しみながらも真剣に取り組んでいた。

また、「恋鯉コイン」は、水槽の中のグラスにコインを入れるゲームであるが、水の揺らぎによりコインが不規則な落ち方をするため、なかなか入らないので、参加者は恋の成就、商品ゲットを目指して奮闘していた。

笛吹川石和鵜飼は、毎週水・木・土・日の8時から行われた。鵜飼は船上から鵜を操るのが一般的だが、鵜匠(うししょう)が川の浅瀬につかかって歩きながら海鵜を操って漁をする、鎌倉時代に始まったとされる伝統漁法「徒歩鵜(かちう)」で、暗がりの中、たいまつ(たいまつ)の灯りを頼りに行われる漁法に、多くの観光客が見入っていた。9月4、5の両日には、全国各地の鵜飼(うかい)関係者が集まる第15回全国鵜飼サミットが笛吹市で開催され、ゆかりのある13市町から100人余りが参加し、河川の環境保全や観光振興、伝統技術の継承など鵜飼に関する問題を話し合いが行われる予定である。

連夜花火は、毎夜8時50分から10分間花火を打ち上げるもので、「花火大会」の混雑とは違い、ゆったりとした雰囲気の中、浴衣姿の団体

客や親子連れなどそれぞれ楽しんで

んでいた。なお、

石和温泉では、9

月以降も、「ナイ

トワイナリーツ

アー」や源泉足湯

ひろばを活用し

てのイベントを

計画している。



鵜飼を楽しむ観光客



伝統漁法「徒歩鵜」